

# 国際貢献学部が誕生 世界が待つ知的チェンジメーカーを育成

## 京都外国語大学

Kyoto University of Foreign Studies

建学の精神を  
時代に合わせて体现

京都外国語大学の教育のベースにあり、かつ連年の改革の指針となっているのが、「言語を通して世界の平和を」という建学の精神だ。

今、同大学が推し進めているのは、「言語Ⅱ外国語学習」「平和Ⅱ社会科学の統合的探究」とする考え方を土台にしたグローバル人材育成。

そして、これを象徴するのが、2018年4月開設の「国際貢献学部」である。かつての外国語学部国際教養学科を発展させて、新たに学部として設置する。グローバルな視点と高度な語学力と教養を磨く「グローバルスタディーズ学科」と、観光を政策・ビジネスとして学ぶ「グローバル観光学科」の2学科が設置される。

地球規模での活躍をめざす  
グローバルスタディーズ学科

松田武学長は次のように語る。

「グローバル化の進展にともない、ヒト・モノ・カネが自由に国境を越えて私たちの生活に影響を及ぼしている現在では、ビジネスにおいても新しい課題が次々に生まれてきます。国際貢献学部によって養われる力は、狭義の国際貢献・国際協力にとどまるものではなく、国内外で課題解決に取り組むすべての人に求められる力です。語学に加え、社会科学の技法も身に付けることで、世界が求める『知的チェンジメーカー』を育てていきたいと考えています」

これまでの同大学は、語学や文化を中心とした人文科学を教育の軸としていたが、そこに、政治学、経済

学、経営学などの社会科学の要素を融合しているのが新学部の教育の特色の一つといえる。

そして、これらのスキルや知識を、実社会で使えるものにするために、もう一つ重要な要素となるのが、地域での実践活動である「コミュニティエンゲージメント」（詳細は後述）だ。

グローバルスタディーズ学科の大きな特色は、英語で専門科目を学ぶこと。例えば、政治学や経済学などの科目も英語で学ぶことで、地球規模の課題解決につながる幅広い社会科学系の知識や技法を身に付けるとともに、海外の大学で学んでいるのに近い語学運用能力を修得することが可

能だ。また、留学生も積極的に受け入れ、日常的に英語でコミュニケーションする環境を作る。

さらに、グローバルスタディーズ学科では、国際機関、国際開発金融機関、グローバル企業など、第一線で活躍していた実務家教員が指導を担当。

国際観光文化都市である京都を舞台に、外国語教育を軸にしたグローバル人材育成に取り組む京都外国語大学。2018年4月「国際貢献学部」を開設。教育内容や育成する人材像などの構想をレポートする。





# COMMUNITY ENGAGEMENT

[コミュニティエンゲージメント]

## 経験で成長し、 挑戦で飛躍する

まず導入科目で自らの興味・関心の方向性を探りながら事前学修を重ね、それぞれの国や地域での課題解決に臨みます。一般的な実習ではなくコミュニティ(地域社会)の人々と一緒に考え、汗を流す実社会での活動。単なる参加ではなく、コミュニティの一員として協働と連携に取り組みます。

挑戦を繰り返すことで、自分でも成長を実感できます。

【1年次】  
自分にあったテーマを見つけたきっかけをつくる

【2年次】  
成長を実感しながら、新たな課題発見

Community Engagement  
Workshop I・II [1,2年次]  
国内外のコミュニティで実際に活動する姿をイメージして学修。

【3年次】  
プロジェクトの実践

Community Engagement  
PROGRAM [2,3年次]  
国内外のコミュニティを活動の場にプロジェクトを実践します。

【4年次】  
実践を振り返り、プロジェクトを発展



Global Engagement [1年次]  
国際貢献の実践的なプロセス、その手法、多様な価値観について学び、複眼的視点で事象を捉える力を身につけます。

経験の大切さを誰より知る教員陣が、学生たちに主体的な学修のきっかけを与える。

## 「観光」を「多文化間交流」と とらえるグローバル観光学科

グローバル観光学科は、もちろん「観光」がキーワード。しかし、同学科では、この「観光」の概念をより広義にとらえている。

「今や観光の概念は大きく広がっています。フードツーリズム、スピリチュアルツーリズムなどの体験型・交流型の観光に象徴されるように、観光はまさに「多文化間交流」の機会。様々な出会いや発見が生まれるコミュニケーションの場であり、産業としての可能性は急速に拡大しています(松田学長)」

その意味で、狭義の観光産業以外の分野でも、「多文化間交流」としての観光について、グローバルな視点から体系的に理解している人材が必要なのだ。

そのため、グローバル観光学科では、観光学、経営学、政策科学、京都学などを柱とした教育を提供。観光に新たな価値を創出できる人材を育てていく。

なお、グローバル観光学科も留学生を受け入れるが、こちらは、専門科目の授業は日本語で行う予定だ。

## 国内外で本物の問題解決 「コミュニティエンゲージメント」

そして、国際貢献学部との両学科において、人文科学と社会科学が融合した学びを経験の面から血肉化するのが、「コミュニティエンゲージメント(地域社会との連携・協働)」である。実際にコミュニティに入り、教室で学んだ知識を活かしながら、地域の人たちと共に地域課題の解決に取り組む。グローバル観光学科では、京都という地域性を活かし、国内でも行いが、グローバルスタディーズ学科では、欧米、アジアにわたる海外でも実施される。

「留学とは異なり、例えば現地の

福祉施設などで活動することにより、学生はキャンパスの中だけでは得られない大きなものを感じとり、成長できるはずだ。語学+αとしての実践ではなく、社会や地域のために何かをしたい。そのために語学を修得しなければというスタンスで取り組んでほしいですね(松田学長)」

海外で実施されるプログラムは学生にとってハードルが高い挑戦になるだろう。だからこそ、その経験は学生に強烈な刺激を与えることになる。一連の教育を通して京都外国語大学国際貢献学部が育てる知的チェンジメーカーは、鋭い洞察力と行動力をもって、世界の多様な課題に果敢に挑戦するのである。

## Information

### 京都外国語大学



1947年創設。建学の精神は「言語を通して世界の平和を」。外国語学部に、英米語学科、スペイン語学科、フランス語学科、ドイツ語学科、ブラジルポルトガル語学科、中国語学科、日本語学科、イタリア語学科を設置。少人数環境による実践型授業で「使える語学力」を養う。専攻言語以外に第2、第3外国語として、19言語から選択できる多言語に挑戦できることも特色である。

#### ●DATA

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6  
TEL 075-322-6035 (入試センター)  
URL <http://www.kufs.ac.jp/>